



実りの秋を実感

遠浅小学校では毎年、地元農家の方から田んぼを提供してもらい田植えと稲刈りを行っています。9月29日、黄金色に実をつけた稲を刈る作業が行われました。雨上がりで足もとがゆるく、ぬかるみに足を取られながら稲を刈り、上級生は1、2年生の面倒をみながら効率よく流れ作業で進めていきました。刈り取った稲をはさがけし作業は終了。おいしいお米が食べれるのもうすぐです。

昔なつかしの映画展を開催

『昔なつかしの映画展』という名称で10月6日から12日まで早来公民館、10月13日から23日まで追分公民館において当時の映画雑誌や評論、ポスターなどの展示が行われました。

訪れた年配の方は若いころの俳優や女優の写真を懐かしそうに見入っていました。



現在研修センターとして利用されている場所に、明治29年から昭和50年まで早来小学校がありました。研修センター玄関横の大きな大木は旧早来町の町木に指定されていたカシワ。およそ350年間、そこに根を這わせ町の移り変

どんぐりをテーマに開催



愛好者による町民ペタンク大会

町民ペタンク大会が10月10日にときわスケートリンク内グラウンドで開催されました。開会式で安平町ペタンク協会の松山健治さんは、9月に開催されたねりんピックペタンク交流大会の準備から当日のスムーズな運営に対して北海道ペタンク協会から感謝のことばが送られたことを報告。松山さんは改めて町内の関係者に謝辞を述べました。

試合には36名が出席。各4チーム3ブロックを作り、ブロックによるリーグ戦方式で対戦。各ブロックの1位を優勝とし、結果は次のとおり。

Aブロック:松山恵美子、山田耕一、高橋克年チーム、Bブロック:榎林義博、餌取弘明チーム、Cブロック:楽間孝次、楽間美沙緒、中村幸三チーム。

わりを見てきたのです。カシワに実る「どんぐり」の語呂に合わせて「どんぐり祭り」が10月9日、10日の両日早来研修センターで開催されました。主催した「土の会」(代表 川内つづりさん)は明治時代に開拓された旧早来町の歴史を振り返る機会になればと、「農耕馬と歩んだ歴史」と題し馬頭観音や馬鉄道、酒造や酪農などが盛んだった当時のパネルを展示し、背景を手書きで紹介。「どんぐりコーナー」ではどんぐりを使った遊びやカシワの木がもたらした恵みを物語にして展示。来場者にはどんぐりのストラップをお土産に手渡すなど子どもからお年寄りまで楽しめる内容となっていました。

親子で満喫!

10月12日に早来町民センターで「あそびの広場」が開かれ、当日は人形劇の講演を皮切りに、町内団体による大型遊具や木の砂場を集めたスペースのほか、工作コーナーが設けられました。集まった200名の親子はスタンプラリーのカードを手に、心ゆくまで楽しんでいました。



絵本の読み聞かせのようす